社会資本総合整備計画　事後評価書

平成 28 年 5 月 16 日

計画の名称	豊かな環境に出会えるまち　くまがや		
計画の期間	平成22年度　～　平成26年度　（5年間）	交付対象	熊谷市

計画の目標

下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）

①下水道による雨水整備達成率を54.2%（H22）から55.2%（H26）に増加させる。
②下水道による汚水整備達成率を77.2%（H22）から82.3%（H26）に増加させる。
③下水道管渠の長寿命化計画を0.6%（H22）から2.9%（H26）に増加させる。
④下水道処理人口普及率を42.2%（H22）から43.8%（H26）に増加させる。
⑤中継ポンプ場汚水ポンプ更新を0%（H22）から100%（H26）に増加させる。
⑥耐震化計画達成率を75.0%（H22）から100%（H26）に増加させる。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H22当初）	中間目標値（H24末）	最終目標値（H26末）	備考
① 下水道による雨水整備達成率 雨水整備完了済み面積（ｈａ）／雨水整備を実施すべき面積956.6ｈａ	54.2%	54.6%	55.2%	
② 下水道による汚水整備達成率 汚水整備済面積（ｈａ）／汚水対策を実施すべき面積2,102ｈａ（※H23年度から2,158ｈａ）	77.2%	80.3%	82.3%	②指標の分母（※）は、事業認可変更によるもの。
③ 下水道管渠の長寿命化達成率 管更正済延長（m）／管更正対象延長61,722m	0.6%	0.6%	2.9%	③指標は「その他関連する事業」と一体的に評価する。 また、防災交付金へ移行。
④ 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口（人）／総人口（人）	42.2%	43.0%	43.8%	⑤指標は「その他関連する事業」と一体的に評価する。 また、防災交付金へ移行。
⑤ 中継ポンプ場汚水ポンプの更新達成率 年度施工基数／総基数4基	0.0%	0.0%	100.0%	
⑥ 耐震化計画達成率 3箇所施工済／4箇所（ポンプ場・処理場）	75.0%	75.0%	100.0%	

全体事業費	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	1,714.4百万円	Ａ	1,403.2百万円	Ｂ	0.0百万円	Ｃ	311.2百万円	効果促進事業費の割合 Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	18.2%

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

熊谷市公共下水道事業社会資本整備総合交付金評価委員会設置要綱第２条により
設置をした熊谷市公共下水道事業社会資本整備総合交付金評価委員会にて実施

事後評価の実施時期

平成28年5月16日

公表の方法

市ホームページ掲載

１．交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

Ａ　基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	国費率（基本）	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施年度 H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
元荒川処理区																
A-1-1	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	熊谷第１処理分区枝線整備事業	42.94ｈａ	熊谷市	―	―	―	―	―	148.5	
A-1-2	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	元荒川第１処理分区枝線整備事業	4.91ｈａ	熊谷市	―	―	―	―	―	79.5	
A-1-3	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	元荒川第３処理分区枝線整備事業	7.54ｈａ	熊谷市	―	―	―		―	189.7	
A-1-4	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	元荒川第４処理分区枝線整備事業	14.95ｈａ	熊谷市		―	―	―	―	194.7	
A-1-5	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	元荒川第５処理分区枝線整備事業	調査・設計	熊谷市		―		―		24.5	
A-1-6	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	熊谷第２処理分区合流改善事業	人孔・管渠の改修	熊谷市						0.0	合流改善計画・計画見直しにより、改修不要となった
A-1-7	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	北原幹線整備事業	L=0.53ｋｍ	熊谷市	―					54.3	
A-1-8	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	熊谷第２処理分区長寿命化事業	φ250　調査	熊谷市			―			1.9	長寿命化計画・H25から防災交付金へ移行
A-1-9	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	平戸中継Ｐ場長寿命化事業	汚P×4台（14㎥/min～20㎥/min）　計画策定	熊谷市						0.0	長寿命化計画・H25から防災交付金へ移行
A-1-10	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	大麻生幹線整備事業	調査・設計	熊谷市					―	1.1	
A-1-11	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	肥塚幹線整備事業	L=0.75ｋｍ	熊谷市		―				20.3	
妻沼処理区																
A-1-13	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	妻沼処理区枝線整備事業	7.68ｈａ	熊谷市	―	―			―	96.9	
別府排水区																
A-2-1	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	別府第１雨水幹線整備事業	L=0.61ｋｍ	熊谷市	―	―			―	241.2	
A-2-2	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	別府排水区雨水枝線整備事業	L=0.28ｋｍ	熊谷市		―				51.0	
荒川排水区																
A-3-1	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	荒川第３雨水Ｐ場耐震化事業	延床面積2,203㎡　1棟、計画策定	熊谷市						0.0	地震対策計画・市の方針で事業実施を先送り
												合計			1,103.6	

Ｂ　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	国費率（基本）	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
—	—	—	—	—	—		—	—	—						—	関連事業なし
												合計			0	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

Ｃ　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	国費率（基本）	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
C-1-1	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	熊谷第１処理分区枝線整備	3.86ｈａ	熊谷市			―	―	―	74.6	

C-1-2	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	元荒川第１処理分区枝線整備	3.52ｈａ	熊谷市						38.4	
C-1-3	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	元荒川第３処理分区枝線整備	1.18ｈａ	熊谷市						14.2	
C-1-4	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	元荒川第４処理分区枝線整備	5.03ｈａ	熊谷市						48.8	
C-1-5	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	元荒川第５処理分区枝線整備	調査・設計	熊谷市						12.4	
C-1-6	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	妻沼処理区枝線整備事業	0ｈａ	熊谷市						0.0	基幹事業を優先的に進めているため、次期計画に先送り
C-2-1	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	別府排水区雨水枝線整備事業	L=0ｋｍ	熊谷市						0.0	基幹事業を優先的に進めているため、次期計画に先送り
C-4-1	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	内水ハザードマップ作成事業	ハザードマップ作成	熊谷市						0.0	職員による作成としたため、事業費不要となった
														合計	188.5	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
C-1-1	基幹事業と接続する枝線管渠を一体的に整備を行うことにより、普及促進を図る。	
C-1-2	基幹事業と接続する枝線管渠を一体的に整備を行うことにより、普及促進を図る。	
C-1-3	基幹事業と接続する枝線管渠を一体的に整備を行うことにより、普及促進を図る。	
C-1-4	基幹事業と接続する枝線管渠を一体的に整備を行うことにより、普及促進を図る。	
C-1-5	基幹事業と接続する枝線管渠を一体的に整備を行うことにより、普及促進を図る。	
C-1-6	基幹事業と接続する枝線管渠を一体的に整備を行うことにより、普及促進を図る。	
C-2-1	基幹事業と接続する枝線管渠を一体的に整備を行うことにより、普及促進を図る。	
C-4-1	内水ハザードマップの作成により、内水による浸水被害に対する住民の自助を促し、被害の軽減を図る。	

その他関連する事業

計画等の名称

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	国費率（基本）	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
A’-1-8	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	熊谷第２処理分区長寿命化事業	調査、設計、対策	熊谷市						16.7	長寿命化計画・防災交付金への移行分
A’-1-9	下水道	一般	熊谷市	直接	—	1/2	平戸中継Ｐ場長寿命化事業	汚水ポンプ×4台の改築更新	熊谷市						192.6	長寿命化計画・防災交付金への移行分

A’	209.3百万円	B’	0百万円	C’	0百万円	(C+C’)/((A＋A’)+(B＋B’)+(C＋C’))	16.2%

２．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

・雨水整備の結果、内水被害発生の恐れが従前より低くなった。
・汚水整備の結果、当初現況値と比べ、汚水整備率は6.7%、下水道処理人口普及率は1.2%上昇した。
・管渠更生の結果、道路陥没等の被害発生の恐れが従前より低くなった。
・汚水ポンプ更新の結果、耐用年数超過による故障の恐れがなくなった。

Ⅱ定量的指標の達成状況

		最終目標値	最終実績値	目標値と実績値に差が出た要因
指標① 下水道による雨水整備達成率		55.2%	54.7%	最終目標値を目指して事業を進めたものの、予算状況や輻輳する埋設物の移設等で想定を超える費用と期間が掛かってしまったため。
指標② 下水道による汚水整備達成率		82.3%	83.9%	効率的な整備の実施及び民間開発区域が加わったため。 ※平成23年度からの事業計画区域2,158ｈａで実績値を算出すると、81.7%となる。
指標③ 下水道管渠の長寿命化達成率		2.9%	2.9%	—
指標④ 下水道処理人口普及率		43.8%	43.4%	推計していた最終年度の「下水道を利用できる人口」及び「総人口」の数値と実際の数値とに差が出たため。
指標⑤ 中継ポンプ場 汚水ポンプの更新達成率		100.0%	100.0%	—
指標⑥ 耐震化計画達成率		100.0%	75.0%	市の方針として、特定建築物（庁舎や学校等の多数の者が利用する建築物）の耐震化を優先しており、事業実施が先送りとなっているため。 ※特定建築物以外の市有施設については、施設の重要性、保全状態、耐震性能を勘案し、緊急性の高い施設から順次計画的に耐震診断と耐震改修を推進することとなっている。

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

３．特記事項（今後の方針等）

・次期（平成27年度～平成31年度）社会資本総合整備計画においても、引き続き効率的な整備を進めていくと共に、大幅な人口減の時代を迎えているため、全体計画（公共下水道で整備する）区域の見直しも行い、無駄のない整備を実施する。
・先送りとなっている指標⑥に関わる施設の耐震化については、今後の然るべき時期に社会資本総合整備計画へ反映して実施していく。